



ゆっころ通信

～ 障害者が安心して暮らせる地域社会を目指して～

発行：社会福祉法人ゆっころ
 龍ヶ崎市川原代町3区2422-11
 Tel:0297-64-1393 Fax:84-6717
<http://www1.ocn.ne.jp/~yukkora/>

～第12回ぜんせいれん全国大会特集～

9月29日・30日、「第12回ぜんせいれん全国大会 in 小田原」が、小田原市民会館を会場にして、台風の到来を押し戻す熱気で開催されました。

往復とも貸切の快適なバスの旅、時々流れる「おや、添乗員さん？」と聞きまがうような、猪瀬施設長の軽妙なアナウンスに導かれ、一人も置き去りにされることなく無事行って、帰ってきました。

ゆっころから参加した皆さんの手記と写真で綴る大会参加体験特集をお楽しみください。



待たれる県南当事者組織・茨城県連組織の結成

社会福祉法人ゆっころ理事長 杉江 彰

今回のぜんせいれん大会は、「ゆっころを支える会」と「やすらぎの会」からの金銭援助もあり、ゆっころとしてメンバー20名を含む24名で参加してきました。ぜんせいれん大会全体の参加者は約400名でした。

「ぜんせいれん」は全国精神障害者連合会の略称で、1993年に当事者主体で運営する全国組織として結成され、2年毎に各地で全国大会を開催しています。県連組織と単会組織がありますが、残念ながら茨城県には県連組織がありません。水戸やひたちなか、茨城県南等では当事者活動が活発ですので、ぼちぼち茨城県でも当事者組織の結成と、県連組織結成が待たれるところ です。

第1日目開会式・記念講演の後、分科会は18に分かれましたが、全員発言してきました。(参加の多かった分科会は「一人暮らし」「夢と生き甲斐」「フリーターキング」「統合失調症」等でした) その夜は、箱根湯本の温泉ホテル「天

成園」での交流会(180名)に参加、温泉も楽しみました。

第2日目は、スピークアウト(小田原市民会館大ホールの壇上から一人3分間の持ち時間で自由に意見発表をする)に全体で30名ほどの方が意見発表をしました。ゆっころからの参加者はなんと9名が名乗り出て壇上に立ちました。前々回(さいたま大会)ではゼロ、前回(岡山大会)は2名でしたので、実に驚く数の発表者でした。

台風17号が接近している中でしたが、帰るまで雨に降られず、好天に恵まれたのは幸いでした。閉会式で2014年には富山県で開催すると発表されました。それまでの2年間のうちに、県南でもぜひ当事者組織が結成されることを願っています。龍ヶ崎市古城の「古城の家」は、2階の大きな集会室が空いていますので、ここを県南の当事者組織の部屋として使ってもらえればと思います。



【開会式の様子】



【とっておきの笑顔】



【交流会会場にて】

行ってきました! ぜんせいれん大会

3分間スピーチから

服薬は 30 年間しておりまして、ここまで立ち直ることができ、主治医の先生の言う事をきちんと守り、規則正しい生活をしたことが今の自分につながった。お酒は病気になってから 30 年間、飲んでいません。薬と合わないことを自覚しています。58 歳になるけど、気持ちは 20 歳です。



ボランペの家 石塚充典



【スピークアウトに並ぶ人たち】



【講演に聞き入る参加者】

自分の分科会は、「一人暮らし」でした。私は、「一人暮らしをして 12 年、仕事は、ボランペの家で世話人をしています。毎日大変ですが、楽しく過ごしています」と緊張しながら話して、他の方から「頑張っていますね」とか「たまには、ゆっくりしたほうがいいよ」と温かい言葉をかけてもらい、拍手をしていただき、嬉しくなりました。

生活保護と作業所の工賃とで生活している方の「一人暮らしはどこまでできるのか自分との挑戦だ」の言葉が印象強く心に響きました。

その夜は天成園でご馳走が出て、皆紹介や話をして楽しく過ごせました。良い旅館でした。

大会に参加して、普段見ることのない、皆の一面や生活ぶりや良いところを学び、満足しました。
ボランペの家 世話人 松永典子

スピークアウトでの発表

私は 11 年前に糖尿病になり、その後統合失調症と言われ、精神的に辛くなり自殺を考えた事もあります。



2 年前からゆっくらに参加していますが、今年 1 月に薬を飲まなくなった事と禁止されているタバコを吸った事が原因で職員とトラブルになり、病院に入院しました。5ヶ月近く入院して、時間の管理の方法を覚えたのが大きな収穫でした。また、自分は多くの人達に支えられている事も分かりました。他人の迷惑を考えないで暴走する私ですが、これからもよろしく願いいたします。見捨てないで下さい。
ふれんず 長谷川光男

初めてぜんせいれん全国大会に行きました。色々な人たちが全国から集まってきていました。僕は独り暮らしについて話をしました。「花農場で働いていますが今、現在働いていることが楽しくてたまりません。給料がひと月で 14,000 円になります。仕事は午前中で、午後の仕事は、今はあるときとない時があります」フリーターキングにも出させて頂きました。良い思い出になりました。**古城の家 高階正人**



小田原と箱根へ日帰りで行ったことはありますが、泊りは初めてでした。



2 日目のスピークアウトでは花農場での仕事に関し思いのたけを語りました。「花農場で初めて仕事を教わったのは真利子さんからでした。シールはがしとポットケース専門でしたが、3 年位前から仕事の内容が変わり、その分仕事の幅も広くなりました。今年は変化の年になるようだと思う今日この頃です。職員・スタッフの皆さん有難うございました」
古城の家 北村清治

小田原大会に参加して

花農場指導員 多田 公樹

恥ずかしながら、今回、

ぜんせいれん小田原大会の話があるまで、ぜんせいれんについて何も知りませんでした。日頃、花農場で利用者さんへの対応に至らなさを感じている私は、とりあえず何でもやってみたくつちやという思いから参加することにしました。

思っていた以上に得るものが多い大会でした。ゆっくらのスタッフであると同時に当事者でもある自分にとって、まず、全国の仲間たち(当事者、スタッフ両方)と繋がれたことが嬉しかったです。また、「これは、すごいな」と感じたことは、主催者から運営スタッフ、分科会の司会、パンフレットの配布、カメラマンに至るまで、すべて当事者が担っていたことです。

私も今まで色々な福祉サービを受けてきましたが、不必要な、過保護にしているだけの支援が多いのに寂しい思いをしてきました。だから、今回、当事者であるうと、自分たちの力で責任を持って活動する姿を見て「我々だってやれば出来るんだ」という、人間としての誇りのようなものを感じました。実際、何から何までうまくいっている訳ではありません。しかし、それは参加者のほうで臨機応変に対処して事なきを得たと思います。

最後に、ゆっくらのメンバーがスピークアウトでも懇親会でもすっきり羽を伸ばし、その元気の良さは全国でも出色だったことにこれからのゆっくらへの明るい希望を感じました。



古城の家だより

「古城のみなさまあ、お風呂の用意ができました！どうぞお入りください」月水金はシャワーの日、火木土湯船の日、週ごとの当番のボイラー係が奮闘し館内放送が響き渡ります。

今年1月にオープンした古城の家は何から何まで初めてづくしの中で、いろいろなことがありましたが、皆で何とかクリアして10か月目に入りました。

ここは1階に6名、2階に6名合計12名が暮らす大所帯です。それぞれに個室はきちんとありますが、共有スペースもたくさんあり、中集団の共同生活となります。そこにはどうしてもお互いに気持ち良く暮らしていくためのルールが必要となります。古城のメンバーさんたちは、規則の多い病院や訓練施設から来た人が9名、自由気ままな自宅から来た人が3名という集団なので、程よい(?)生活のルールを作るのは大変なことでした。古城の家ならではのルール8か条が確定するまでの日々は、メンバーさんと職員が真正面から真剣にぶつかり合い、一生懸命取り組んできた大切な、そして自慢のできる日々でもあります。

初対面だった者同士が、喧嘩をしたり、誤解しあ

～10か月がたちました～

古城の家施設長 大久保 タイ子

ったり、自分勝手なことをしたり、人に迷惑をかけたなりなどのたくさん失敗の中で、たくさんたくさん正直に話し合い、少しずつ自分のことも相手のことも理解し受け入れていく体験を積み重ねてきました。

6月にはみんなでリーダーを選出し「ハピネス古城」という親睦会を作り、今では自分たちの事は自分たちで話し合っていく形ができつつあります。

古城の家が、社会という大きな空間の中で、シェルターのような基地となり、しばしここでの人間関係から常識やルールを学びつつ、外に向かい自信をもって飛び出してほしいと願っています。その元気な後ろ姿を、毎日見送ることが職員たちの今の幸せです。

「古城の皆様あ、明日はごみの日です！」…今日のごみ係りの放送が響きわたります。



夏祭りに地域の皆さんと一緒に神輿を担ぎました！

スペースな かま

私の人生の体験談

わかば 鴨下 美千子



皆さん、こんにちは。わたくしがわかばに通い出して、もう六年ぐらいいになります。いろいろな方にお世話になりました。今は退職されましたが、Kさん、Wさん、Mさん、Oさん、今はMさんと、わかばと切っても切れない縁があります。

わたくしの病気は統合失調症ですが、これらの方々にいっぱい話を聞いて頂きました。全員の方が私の話を受け入れてくださり、応援してくださり、わかば通信に体験談を書かせてくださり、大変恵まれた六年間を過ごしてまいりました。私には夢があります。私の体験を生かして、他の人の為に役立つという夢がこの六年間を通して一層膨らんでまいりました。指導員の方々は、このような考えを温かく見守ってくださり、そればかりか助けて下さいました。このような考え方に至ったのも、大きな出会いが三度ほどあったからです。今、わたくしがいるのはこの方々のおかげです。その人たちのためにも、恩返しをしたいのです。

でも、困ったことに、耳の中にいる人たちにいじめられすぎて、最近ではわたくしの思考力が鈍ってまいりました。「ボケの、はじまりなのか？」と、思ったりもしています。私も還暦を過ぎ、六一歳。気持ちだけは若いつもりでいるのですが、体力の衰えを感じています。足を鍛えようと散歩や階段の昇り降りしようとするれば、耳たちが疲れると邪魔をし、なかなか思うようにいきません。最近、十日間考え、二十年もかかって耳の中に住んでいる人たちに対抗する力があることがわかりました。強い圧力を跳ね返すだけの力があることを知ったのです。やっと希望が見えてきました。

皆さん、統合失調症なんて怖くないですよ。立ち向かえば立ち向かうほど、味が出てまいります。苦しめば苦しむほど人間的に成長し必ず何かやってやろうという気持ちにさせられます。

ほっとピア工房のようす (屋外) 活動

ほっとピア工房施設長 山本 光明

現在、屋外活動として、イオン農場での農作業一回二時間・週二回と、株式会社大祐の造園管理敷地内草刈り作業一回二時間・週二回を定期的に行なっています。その他、企業や個人、団体様等から依頼があれば、可能な活動は積極的に実施しています。

最近(七月〜八月)では、ワンダーグー(私たちの牛久店) 駐車場の草刈り、うしくグリーンファームのじゃがいも畑の草抜き、暮らしの便利手帳のポスティング(郵便受けへの投函)、岡見地区の空き地の草刈りや個人宅の草刈りなどを行ないました。

屋外の活動は足腰を使うことが多いので体力的に大変です。猛暑の中、全身汗でビショビショになりながら、時には泥にまみれることもありましたが、水分を小まめにとりながら一緒に頑張りました。夏の暑さや重労働を通して体力に自信ができました。との言葉に多くの希望や可能性を感じます。また、屋外で活動すると思わぬ差し入れを戴いたり、地域の方との交流が生まれたり、劳いの言葉を戴く喜びもあります。

熱中症で倒れるニュースが相次いだ今年の夏、健康管理をきちんとして活動されたメンバーさんたちを誇りに思います。



“精神保健福祉フォーラムin小美玉”に出店

七月五日当日、わかばともだち村は大型バスと送迎用のハイエースに荷物を積み込み、遠足気分がいざ出発。会場の小美玉四季文化館「みのーれ」は緑が豊富な環境の中にあり広々とした心地よい空間の建物でした。さっそく売り場の設置。長テーブル一つ分のスペースに、皆で作ったクッキー、プリン、パン、そしてわかばで作成した壁掛けをところ狭しと並べ、売る気満々でしたが、まずは全員で、開会式への参加となりました。緊張を持って、開会の挨拶を聞きました。

さあ、いよいよ販売開始。売り場が狭いため、二〜三人で一時間ごとのシフトを組みました。

「皆で頑張った作ったクッキーです。御試食をどうぞ」「おいしい卵の大変好評なプリンです」「おから入りの健康に良いパンです」「ありがとーございました！」

自分たちで作った品々だからこそ、自信を持って売りたい、楽しそうに声かけができるんだなあ、実感できるひと時でした。「あと少し」：「最後の一個」「やったー!!!」見事、完売です。最後は、拍手で締めました。

私の初めての「小美玉フォーラム」は、他の施設の方々とのちよっとしたおしゃべりや商品観察、それから少しの疲れとたくさんの元気をもらえ、達成感で幕を閉じた貴重な経験となりました。ともだち村職員 糸田衣津子

《7~9月の活動から》

- ★7/28 古城の家 城下自治会の夏祭りに繰り出す 流大生と共にみこしを担ぎました。→P3 参照
- ★7~8 月 ともだち村 ブルーベリーの収穫 生食用は直売所で、残りはジャムに加工して販売。
- ★8/2 ゆうあいワークイン ハートフルセンターの流しそうめん大会に参加 かき氷やフルーツ等もあり、皆さん大満足の様子。
- ★8/24~26 ともだち村 ナイスハートバザール土浦会場に出店 おからパン、クッキー、ブルーベリージャムに新商品でした。
- ★8/25 古城の家 給料日は盛大な(?) 食事会 8月は焼きそばパーティー、9月はバーベキュー。
- ★8/28 ふれんず LALAガーデンへ買い物に 久々の買い物ツアーで欲しいものがいっぱい。
- ★9/5 ふれんず 調理実習「オリジナル焼きそば」を作りました。ダシが決め手。
- ★9/6 わかば さんろく果樹園へ暑さに打ち勝てるようにと、たらふく食べました。
- ★9/10 花農場 第2回目メンバーミーティングを開催 出席者はメンバー25名職員5名。様々な有益な改善提案が続出しました。
- ★9/28 ゆうあいワークイン バーベキュー大会 火おこしやテント張りなど、みんなで協力して楽しみました。

社会福祉法人ゆっころの事業所

★ 地域活動支援センター

- 龍ヶ崎地域活動支援センター “ゆうあいワークイン” TEL&FAX 0297-64-1335
- つくば地域活動支援センター “わかば” TEL&FAX 029-836-8544
- つくばみらい地域活動支援センター “ふれんず”
 - 1) きらくやま本所 TEL&FAX 0297-58-3670
 - 2) 板橋支所 TEL&FAX 0297-58-0466

★ 就労継続支援事業B型

- ともだち村
 - 1) つくばみらい市 TEL&FAX 0297-58-5201
 - 2) つくば市 TEL&FAX 029-836-8544
- 花農場(龍ヶ崎市) TEL&FAX 0297-84-6717
- 就労・生活支援センターほっとピア工房(牛久市) TEL&FAX 029-878-2717

★ グループホーム・ケアホーム

- ボランペの家(つくばみらい市) TEL&FAX 0297-57-0756
- 古城の家(龍ヶ崎市) TEL&FAX 0297-85-4301